



広島ガンバ・コンソート 第9回演奏会

アンサンブルの愉しみ

2017年5月21日(日) 開演 15:00
CLiP HIROSHIMA(クリップ広島)
1F イベントスペース

広島ガンバ・コンソート <http://viol.jpn.org/>



家族でのコンソートの様子(17世紀の絵画より)

プログラム

-6声のコンソート-

- ❖ ファレンティン・ハウスマン(1560頃-1613?)
パヴァーヌ、ガイヤルド
- ❖ アルフォンソ・フェラボスコII世(1575-1628)
ファンタジア 変ロ長調

-5声のコンソート-

- ❖ ジョン・ダウランド(1563-1626)
ラクリメ、または7つの涙より『愛する者の涙』
ジャイルズ・ホビー氏のガイヤルド

-2重奏-

- ❖ カール・フリードリヒ・アーベル(1723-1787)
デュエット ト長調 A3:1-4

-独奏-

- ❖ マラン・マレ(1656-1728)
ヴィオール曲集より

-3声のコンソート-

- ❖ ジョスカン・デ・プレ(1450 or 1455-1521)
フランドル楽派のミサ曲から
- ❖ ウィリアム・ロウズ(1602-1645)
イギリス宮廷歌曲によるリュート曲から
- ❖ ヨハン・セバスティアン・バッハ(1685-1750)
クラヴィーアのための三声のシンフォニアから

-4声のコンソート-

- ❖ ウィリアム・バード(1543?-1623)
アヴェ・ヴェルム・コルプス
(めでたしまことの御体)
- ❖ ヨハン・セバスティアン・バッハ(1685-1750)
フーガの技法より コントラプンクトゥス1

-7声のコンソート-

- ❖ ヨハン・ハインリヒ・シュメルツァー(1623-1680)
7声のためのソナタ

ヴィオラ・ダ・ガンバについて

ヴィオラ・ダ・ガンバとは脚にはさんで弾く弦楽器の総称です。(ヴィオラ=弓奏弦楽器、ガンバ=脚という意味) viole ヴィオール(仏)、viol ヴァイオル(英)とも呼ばれます。縦に構えて演奏する姿は、チェロに似ていますがチェロは腕(=ブラッチョ)に構えるヴァイオリン族(ヴィオラ・ダ・ブラッチョ)の低音楽器であり、弦の数や調弦、弓の持ち方などが異なる別の楽器です。

指板には、弦と同じガット(羊腸)を巻いたフレットが7本あり、これによって指で押さえても開放弦と同じような澄んだ、長い響きが得られるのだそうです。

弓はヴァイオリン族が上から持つのに対して、鉛筆を持つように下から木の部分を持ちます。そして木の部分と毛の間に中指を通して、曲げた中指で毛の圧力を調整しながら弾きます。

大小さまざまな大きさのヴィオラ・ダ・ガンバによる合奏をコンソートといいます。ガンバ特有のまろやかな音が重なり、融け合う響きは特に16~17世紀半ばのイギリスで王侯貴族や裕福な市民にもてはやされました。



弓の持ち方
(Franz Josephの肖像画より)